



ち
茅の輪くぐり
無病を祈る
神明宮

神明宮
江戸時代の豪商田中津右衛門家を守る神棟として建てられたのが、はじまりと伝えられています。その後、多くの住民に信仰されるようになりました。毎年六月になると、茅の輪をくぐり家内安全や無病息災を祈願します。夏祭りでは、おみこしがねり歩き町民の幸福と町の繁栄を願います。



つ
鶴が傷を癒した
まかど温泉

まかど温泉
約三百年前、きこりが山の中で自然にわき出た湯たまりを見つけました。そこに一羽のけがをした鶴が足をひたしていました。数日後、鶴が元気に飛び立って行く姿を見ました。その後「鶴の湯」と呼ばれ、それがまかど温泉の始まりとなったそうです。



て
庭園にその名を刻む
野村家頌徳碑

頌徳碑
役場のそばの庭園に頌徳碑があります。野村治三郎家は代々にわたり、北前船で大阪方面と交易する豪商で、明治時代には野村銀行も経営していました。道を直したり、凶作などで困っている人達を助けたり、学校や病院を建てる手助けをした野村家の偉業をたたえて碑を立てました。



と
友達も親子も一つの輪になり
ササ踊り

ササ踊り
お盆には仏様を供養したり、秋の豊作万年を祈り、ゆかたを着た老若男女がたくさん集まり、盆踊りをします。野辺地のササ踊りは古くから伝わる盆踊りで、一つの輪になって一晩中楽しく踊りあかします。